

第7次埼玉県地域保健医療計画に基づく病床整備に係る 医療・介護連携に関する意見交換会（三郷市・草加市）開催概要

1 開催目的

第7次埼玉県地域保健医療計画に基づき整備が予定されている地域包括ケア病床等について、医療・介護連携に関する現状や医療面の課題について意見交換を行い、新たに整備される病床が、それぞれの市における地域包括ケアシステムの構築に向け、どのように貢献していくのかを確認し、共有する。

2 三郷市内における病床整備に係る意見交換会

(1) 新たに病床を整備する病院

○三愛会総合病院 地域包括ケア病床 46床（救急病床50床）

○みさと健和病院 地域包括ケア病床 20床

(2) 主な意見（新たに整備される地域包括ケア病床に期待する役割について）

（三郷市内の病院から）

- ・地域包括ケア病床に期待する役割については、市内で医療が完結できるように急性期も含めて貢献できるような病床を期待したい。
- ・急性期病棟からの転院先探しが難しいことがあり、地域包括ケア病棟には受け入れと、その後の自宅への復帰を期待している。

（高度急性期病院から）

- ・比較的軽症な患者（特に夜間や生活課題のある患者）でも受け入れ先がないとの理由で3次救急に搬送される現状がある。

（三郷市内の介護老人保健施設から）

- ・介護施設から医療機関へ受診を依頼しても受け入れられないこともある。

（三郷市内の特別養護老人ホームから）

- ・地域包括ケア病棟が増床していくに当たり、特別養護老人ホームという施設としての受け入れ幅というのも今後、少し広げていく必要があるのではないかと感じている。

【上記意見を踏まえて三愛会総合病院及びみさと健和病院から】

- ・これまで、依頼された患者は断っていないが、今後も、急性期の患者についてポストアキュート、サブアキュートとして地域包括ケア病棟を利用していただくよう連携を深めていきたい。

3 草加市内における病床整備に係る意見交換会

(1) 新たに病床を整備する病院

○鳳永病院 回復期リハビリテーション病床 10床

(2) 主な意見（新たに整備される回復期リハビリテーション病床に期待する役割について）

（草加市内の救急病院から）

- ・より強い連携と多くの患者の受け入れ、それがひいては救急病院における急性期患者の受け入れにつながって行けるのではないかと感じている。

（草加市内の介護老人保健施設から）

- ・できるだけ受け入れの連携をしていきたい。

（草加市内の特別養護老人ホームから）

- ・施設側としても、経管栄養や胃ろう等の患者を受け入れることができるような体制を作っていく必要があると感じた。

【上記意見を踏まえて鳳永病院から】

- ・現在、この地域で、地域包括ケアシステムを構築するという目標を目指してやっている。患者を速やかに受け入れて、救急病院が、早く救急患者を取れるようにして、地域医療に貢献していきたい。